

教育民生 常任委員会

案件は本会議において付託された議案七件と陳情三件である。

仙北市職員定数条例の一部を改正する条例制定について

(市立角館総合病院)

問 職員を多くすることは予算的に赤字だが、人数を増やして、赤字を解消できるのか。

答 収入増を見込んで、「一七対一」看護基準を導入した。人件費を差し引いても十分赤字の解消はできるものと考えている。

問 市立病院の経営統合を図っていかねばならないと思うが、目途はいついるのか。

答 統合については、医療改革会議でも議論されているが、結論に至っていない。

総務省が公立病院の改革を打ち出しているので最終的には市の政策として判断するものと考えている。

仙北市病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定

問 改正の内容を説明してほしい。

答 育児休業法などの改正である。従来の「三歳に満たない子」から、「小学校就学始期に達するまでの子」に改め、一日二時間を越えない範囲で無給休暇を与えられるもの。

問 自己啓発等の休業の承認とあるが、具体的にどのようなことか。

答 自ら希望して国際貢献を行うとか、大学へ行って勉強するとか、認定看護師の資格を取得する等の場合、休暇を与えるものである。休業期間中、給与の支給はない。

仙北市一般会計補正予算

問 灯油の値上がりで高齢者世帯や所得の少ない方々にとつてさらに厳しい冬になりそうだ。福祉の観点から市の対策は。

答 国の支援対策について詳しい内容がまだ届いていない。通達が届き次第検討したいと考えている。

市長(定例会最終日)

国が緊急原油高対策として、寒冷地の低所得者層を対象にした灯油代補助を考えているようなので、市としても国と歩調をあわせてい。

内容は、生活保護世帯以外の七十五歳以上の非課税世帯と、一人暮らしの障害者の方に支援するものである。

一世帯あたり灯油五十リットル、または、五千円を上限に援助する。早ければ一月中旬ころ結論が出ることになっている。

問 ゴミ処理施設管理運営費のなかで、修繕にかなりの経費がかかっているが、もっと安くできるような工夫を考えているか。

答 また、修繕計画を立てていると思うが、委員会に示せないのか。

答 メーカーが独自に



修繕費の削減が求められるゴミ処理場

開発した特許的なものもあり苦慮しているが、今後も安く出来るよう工夫していきたい。

修繕計画については、建設当初に作成した計画書はあるが、当時と状況が変わってきているので、その点を見直していきたい。

問 角館小学校建設工事で、元請の企業体から、地元業者に、下請けとして、工事を発注したのは業種別にどれくらいあったのか。

また、机、イス等の備品購入についてはどのように考えているのか。

答 元請が地元業者へ発注した業種は、ガラス工事、木

工事、足場工事、土木工事、クレーン関係、金属加工、左官工事等で、金額にして約二億円で契約率は十一、七％程度。

机、イス等については、現在使用しているものをそのまま使いたい。

ただし、補修が必要なものもあるので、年内に確認し、財政課とも相談の上、発注を急ぎたい。

私立病院事業会計補正予算(市立角館総合病院)

問 事業の内容を説明してほしい。

答 X線透視撮影システム整備事業は、既存の機器は平成元年二月の購入であり、透視、撮影像が非常に劣化してきているため更新するものである。

内視鏡光源システム整備事業は、既存拡大スコープに、今回、導入をお願いしている機器を組み合わせることに、見えにくい細微な病変を光の力で分かりやすく照らし出すシステムである。

多彩な機能が精度の高い診断につながるものと考えている。